



— 新年の阿蘇神社社頭 —

阿蘇神社 <http://asojinja.jp>

社報あそみや

平成29年1月1日

第 67 号

発行所

阿蘇神社社務所
多良見町化屋862
☎ 0957-43-5235

謹賀新年

宮司 大 島 大 明
阿蘇神社

平成二十九年の初春を寿ぎ、氏子崇敬者皆々様のご多样を祈念申し上げますと共に、本年も格別のご支援とご高配を賜りますようお願いいたします。

今年は丁酉、十二支では十番目、方位では西、時刻では午後五時から午後七時、動物では鶏(ニワトリ)を当てます。

天照大神が天岩戸に籠もられた時、天宇受命とともに活躍したのが鶏で、以来天宇受命の神

使とされています。境内で放し飼いをしている神社も多数有ります。また、夜明けを告げる鳴き声で神聖視されることが多く、神様が移動する祭儀(遷御など)では、「カケコー」の鶏鳴三声を合図に行列がスタートします。

鶏は一般的に落ち着きが無く、気性は荒いと言われますが、如何なる障害にもくじけず、目標を達成するまで進むそうです。鶏にあやかりたいと思います。

敬神生活の綱領

神道は天地悠久の大道であつて、崇高なる精神を培い、大平を開くの基である。

神慮を畏み祖訓をつぎ、いよいよ道の精華を發揮し、人類の福祉を増進するは、使命を達成する所以である。

ここにこの綱領をかかげて向ふところを明らかにし、実践につとめて以て大道を宣揚することを期する。

一、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、明き清きまことを以て祭祀にいそしむこと

一、世のため人のために奉仕し、神のみこともちとして世をつくり固め成すこと

一、大御心をいただきてむつび和らぎ、神の降昌と世界の共存共栄とを祈ること



— 特設舞台から豆撒き —

平成二十九年節分祭 豆撒き奉仕者募集!!

阿蘇神社恒例の節分祭が二月三日(金曜日)に行われます。

諫早市を代表する迎春行事といわれる阿蘇神社の節分祭には、毎年多くの方が一年間の福を求めて参拝されます。

十二年に一度のチャンスです。酉(とり)歳生まれの皆さん、豆撒き行事に是非ご参加下さい。

◎募集要項

一、日時

二月三日(金曜日)

豆撒きの時間

一回目 午後六時四十分

二回目 午後七時四十分

三回目 午後八時四十分

※袴への着替えのため、いずれも四十分钟には神社に集合していただきます。

二、募集人員

各回 七名 合計二十一名

男女は不問ですが、子供は七名中二名までです。

三、参加料

大人 八千円・子供 五千円

記念写真・記念品を贈呈

四、申込方法

住所・氏名・生年月日・電話番号と希望する豆撒きの時間を紙に書いて、参加料を添えて社

務所へお届け下さい。

(申込用紙は神社にあります)

締め切りますので、お早めに

申込をお願いいたします。

電話での予約も受けています。

電話 四三一五二三五

ファクス 四三一一一八三

お持ち下さい。

②神棚・神殿は一つにまとめ、陶器・ガラス製の付属品は分けてお持ち下さい。

③ビニール袋ではなく、新聞紙または紙袋でお持ち下さい。

④人形雛人形、武者人形などは可ですが、ケースのガラスは自宅で処分して下さい。また、ぬいぐるみは不可ですので自宅で処分して下さい。

⑤神社と関係ないものは持ち込みないようにお願いします。

◎節分とは

春夏秋冬の四季に恵まれた日本では、四季を更に細かく区分して二十四の節氣としています。節分は季節の移り変わる節(立春、立夏、立秋、立冬)の前日のことで、年四回の季節の変わり目に

は、古来より様々な行事が行われていたようです。

現在では節分というと、一般的に立春の前日を指します。豆撒きをして邪気を祓い、清々しい気持ちで春を迎えるものです。



— 火焼神事 —

今年の年男・年女(酉歳)	
平成十七年生、平成五年生、昭和五十六年生、昭和四十四年生、昭和三十二年生、昭和二十年生、昭和八年生	昭和八年生
昭和五十六年生、昭和四十四年生、昭和三十二年生、昭和二十年生、昭和八年生	昭和八年生
昭和五十六年生、昭和四十四年生、昭和三十二年生、昭和二十年生、昭和八年生	昭和八年生
昭和五十六年生、昭和四十四年生、昭和三十二年生、昭和二十年生、昭和八年生	昭和八年生

新嘗祭終了

十一月二十三日に恒例の新嘗祭が斎行されました。六月の田祈禱祭で五穀豊穣の祈念をし、秋の新嘗祭は願成就の御礼の祭として行われています。御神前には初穂を始めとする神饌、左右の柱には懸税（かけらから）の稻穂の束が掲げられました。祭典では、宮司が五穀豊穣の感謝と諸産業への更なる御加護を祈念する祝詞を奏上しました。

☆新嘗祭への奉納☆【敬称略】

◇懸税・初穂 松山弥八
◇獻穀米 長崎県神社庁西彼支部

長崎県神道青年会

◇ミカン JA長崎西彼喜々津支店長・高内明博

◇献酒 親和銀行多良見支店、たちばな信用金庫多良見支店、十八銀行多良見町支店、JA長崎西彼喜々津支店

◇キウイフルーツ 大塚秀樹

◇初穂料 森誠司、JA長崎西彼理事・谷口謙太郎、(有)森商会・石丸聰、白岩忠雄、大塚秀樹、松尾祥吉、松尾忠憲

北島守幸、松尾義光、溝上泰治、白石幸男、高柳秋雄、

松永芳一、村瀬健一郎、西平隆、本田英二、徳永廣治、池田芳信、内村典秋、中路徹、松森恒一、松山司、高松悟、前田信太郎、北島勝幸、福田泰昭、浦嶋政美、森藤男、森秀人、岩本勲

◎祝祭日には国旗を掲げてお祝いいたしましょう
◎お正月には新しい御神札を受けて家庭に祀りましょう

◇御本社・阿蘇神社の復興支援のお願い◇



—震災前の御本社楼門—

平成28年4月に熊本県を震源とする大地震が発生しました。震度7の激震が2回発生、余震も続き多くの犠牲者と家屋が倒壊するなど、被害も大きく、自然の脅威を見せつけられた思いがいたします。熊本地震で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りするとともに、被災地の復興と被災者皆様方には、一日も早く平穏な生活に戻られますよう祈念いたします。

熊本県の一の宮に鎮まります阿蘇神社は、全国に鎮座する阿蘇神社の御本社であり、シンボルでもございます。特に正面入口の大屋根で二層の楼門は、鹿島神宮(茨城県)、筥崎宮(福岡県)と共に日本の「三大楼門」と称され、重要文化財として国より指定を受けております。楼門は最初の震度7(前震)には耐えたものの、4月16日夜半の本震で拝殿とともに倒壊いたしました。

楼門は国の調査も終了し、重要文化財として再建することが決まり、解体作業も開始されました。然し乍ら拝殿他の再建・補修に関わる費用は、神社自身の負担となるようで、完全復興までに10年を要すると承っております。

当社では、御本社の復興を支援するため、募金箱を設置することといたしました。元日より節分まで募金箱を設置し参拝者へ募金のお願いをいたします。

氏子崇敬者各位には、ご出費ご多端のことと存じますが、御本社の復興支援募金へご高配を賜りますようお願いを申し上げます。

◇御本社復興支援募金要項

- ①元日より節分まで募金箱を設置。
- ②郵便振替でも募金を受け付けます。

口座名 阿蘇神社

口座番号 01760-8-166616

初詣は阿蘇神社へ!!

一年の計は元旦にあり

ご家族お揃いで阿蘇神社へご参拝下さい

平成29年 算賀表

(年齢は数え年)

厄入 男 41歳 昭和52年生
女 33歳 昭和60年生
厄払 男 42歳 昭和51年生
女 34歳 昭和59年生

その他の大厄の年

男 25歳 平成5年生
女 19歳 平成11年生

◎ その他、男女とも22歳、
28歳、37歳、49歳、52歳、
58歳が厄年とされています。

還暦 61歳 昭和32年生
古稀 70歳 昭和23年生
喜寿 77歳 昭和16年生
傘寿 80歳 昭和13年生
米寿 88歳 昭和5年生

◎ その他、90歳を卒寿、
99歳を白寿、100歳を
上寿といいます。

参賀は人生の節目です。
神様に報告をいたしましょう。

お知らせ

◎ 元旦午前零時より三日まで、参拝者には御神酒(樽酒)を振る舞います。
◎ 新年の御祈願は元旦午前零時より随時受け付けます。会社・団体の新年の祈願祭も随时受け付けています。
◎ 神社の駐車場は台数に限りがあります。ご参拝の皆様方には、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご容赦のほどお願いいたします。

十二月三十一日午後四時 大祓式
一月 一日午前零時 歳旦祭
二月 三日午前八時 元始祭
三日午後五時 引き続き 豆撒行事
都山流尺八愛好会による尺八の奉納演奏があります。
◎ 紀元祭にはどなたでも参列できます。尺八の伴奏で「紀元節」の歌を合唱します。一緒に歌つてみませんか。
ご家族ご近所お誘い合わせ、ご参列下さい。

◇年末年始の神社行事予定◇

米国の第四十五代大統領にトランプ氏が選出されました。上下両院も多数となつた共和党がどのような政策を揚げるのか、注視したいと思います。▼昨年は世界的に異常気象が続いた大型台風の被害、熊本と鳥取の大地震、更に阿蘇山の爆発噴火など自然災害の多発した一年になりました。▼南シナ海、東シナ海には暗雲が漂つているような今です。敬神生活の綱領の揚げるよう、世界の共生共榮を祈りたいと思います。▼日ごとに寒さも厳しくなります。ご自愛

監	総代	阿蘇神社	宮司	大島	大明
事	責任役員	前田信太郎	会長	北島勝幸	
	副会長	福田泰昭			
		浦嶋政美			
本嶋	森秀人	森勝			
中路	藤男	藤男			
	黙美	黙美			
哲夫	秀人	秀人			
徹	藤男	藤男			
	黙	黙			

謹賀新年

